

問題山積のまま移転日発表 築地でええじゃないか



パレードを終えて 柏木公園で

九月六日、東京・新宿で「土壌汚染指定区域に卸売市場をつくるな!」「世界一の築地市場を未来の子どもたちに残そう」と七回目「築地でええじゃないか!」新宿に再び現る!」が行なわれました。主催はパレード実行委員会。築地市場の労働組合や婦民東京都支部協議会、消費者団体など二百人が参加しました。

パレードに先立つ駅頭集会では学者、建築家、地元議員、築地市場の業者などが日曜日の歩行者天国を楽しむ人々に訴えました。「安全で美味しいモノを食べたいという当たり前のことを、なぜ主張しなくてはならないのですか」と若い女性が発言しました。

移転先とする豊洲の東京ガス工場跡地は土壌汚染除去の確認もまだ。流通の仕組みなど新市場の基本設計

や物流計画も目処が立たない。当初九百九十億円としていた建設費用は現在二千七百五十二億円。汚染対策費用も五百四十一億円から現在八百四十九億円。移転事業の総予算額は既に五千八百八十四億円に達しています。工事を止めて議論し直すべきです。

東京都は七月に「業界との最高決定機関」新市場建設協議会を突然開催、新市場開場を二〇一六年十一月七日と決定しました。

パレードは新宿駅西口の柏木公園から駅を一周。歩道から写真を撮る人や「ええじゃないか」のリズムに合わせて踊る路上ライブの若者もいて、ピラの受け取りも良く、多くの人の関心をよんだようでした。